

様式第3号

会 議 録

| | | | | |
|------------------------|-----|---|------|----|
| 会議名 (付 属 機 関 等 名) | | 令和2年度 第3回 川西市産業ビジョン推進委員会 地域経済対策検討部会 | | |
| 事務局 (担 当 課) | | 市民環境部 産業振興課 | | |
| 開催日時 | | 令和2年12月24日(木)午後3時～4時30分 | | |
| 開催場所 | | オンライン開催(川西市役所 2階 201会議室) | | |
| 出席者 | 委員 | 佐々木部会長、時任部会員、木原部会員、辻田部会員、 須磨部会員、野原部会員、藤森部会員 | | |
| | 事務局 | 市民環境部岡本部長、阪上副部長、 産業振興課飯田課長、大島課長補佐、中野主任 | | |
| 傍聴の可否予定 | | <input checked="" type="checkbox"/> 可・不可・一部不可 | 傍聴者数 | 0人 |
| 傍聴不可・一部不可の 場合は、その理由 | | | | |
| 会議次第 | | <p>1 開会</p> <p>2 議事 (1) 産業ビジョンとポストコロナ時代の経済対策の検討 (2) その他</p> <p>3 閉会</p> | | |
| 会議結果 | | 別紙 審議経過のとおり | | |

| | |
|-----|--|
| 事務局 | <p><u>1 開会</u></p> <p>ただ今より、令和2年度第3回川西市産業ビジョン推進委員会 地域経済対策検討部会をオンライン形式で開催いたします。前回に引き続き、産業振興課飯田が司会進行して参ります。よろしくお願いいたします。</p> |
| 事務局 | <p>< オンライン会議の有効性の確認 ></p> <p>では、開催に先立ちまして、オンライン会議システムでの参加及び通信の確認を行います。</p> <p>本日は、山本委員が欠席されていますが、その他の委員について、会議開始前に事務局が「映像及び音声により委員本人であること」、「会長及び委員相互間での映像及び音声の即時の相送受信が適正に行われていること」の2点について、確認を取っております。</p> <p>次に本会は、部会長と部会員6名のご出席をいただいております。当委員会の規則第7条第2項の規定による、定数を満たしておりますことをご報告いたします。</p> <p>また、参画と協働のまちづくり推進条例に基づき、2点お伝えいたします。</p> <p>本日の会議は、こちらの市役所会議室にプロジェクターを設置し、会議内容が傍聴できる体制とし、公開のもと行って参ります。</p> <p>なお、会議録の作成のため、当会議を録画・録音いたします。会議録の作成後には速やかに削除いたしますのでご了承願いたいと思います。</p> |
| 事務局 | <p>< 資料確認 ></p> <p>事前に郵送させていただいた資料のご確認をお願いします。</p> <p>資料は2部あります。</p> <p>次第</p> <p>資料1</p> <p>それでは、議題の進行に移らせていただきたいと思います。当ビジョン推進委員会規則第7条第1項の規定により、部会長に議長を務めていただきます。</p> <p>では佐々木部会長、よろしくお願いいたします。</p> |
| 部会長 | <p><u>2 議事</u></p> <p>第3回の検討部会になりました。今回はこれまでの提案をもとに事務局からたたき台を出していただき、その最終検討をしていただく機会ですので、どうぞよろしくお</p> |

| | |
|-----|---|
| | <p>願いいたします。それでは次第に沿って進行させていただきます。</p> <p>会議中、委員の皆さまからのご発言の際には、挙手いただき、こちらから指名させていただいた後に、マイクをオンにしてご発言をお願いいたします。</p> <p>会議は17時までを予定していますので、円滑な進行にご協力くださいますようお願いいたします。</p> <p><u>議事（１）産業ビジョンとポストコロナにおける経済対策の方向性の検討</u></p> |
| 部会長 | <p>議題（１）産業ビジョンとポストコロナにおける経済対策の方向性の検討についてです。事務局から資料１が提出されています。</p> <p>これまで部会で検討・議論いただきました地域経済対策について、新型コロナウイルス感染症の拡大による社会経済情勢の変化等に触れ、昨年度策定した産業ビジョンの基本方針に基づいて分析・分類し、事業展開の方向性を記載されたものになっております。本日もたくさんのご意見をいただき、より良い最終形につなげていきたいと考えていますので、よろしく願いいたします。</p> <p>それでは事務局から資料に基づいて説明をお願いいたします。</p> |
| 事務局 | <p>< 資料１ と 市北部の物流拠点等の開発計画の概要 について説明 ></p> |
| 部会長 | <p>産業ビジョンのポストコロナを見据えた地域経済対策の案を、事務局から示していただきました。</p> <p>これまで委員の皆様からいただいた意見や想いを反映して、現行の産業ビジョンに追記、あるいは拡充するような形で組み立てられています。それでは細かい点でも結構です。確認事項、質問事項、そして大きなご意見、どのような方向からでも結構です。何かお気づきの点、聞きたい点など、自由にお出しいただければと思いますので、よろしく願いいたします。</p> |
| 部会長 | <p>３ページの下から５行目の3,448億5,500万円の表記については、４ページの億円単位の表記に合わせた方がわかりやすいのではないかと思います。</p> <p>４ページについては、「稼いでいます」という表現は生々しいため、「算出しています」といった表記にすることも検討してください。</p> <p>９・10ページについては、２つの図を掲載されていますが、出典の表記はこれで良いか、より細かく付けたほうが良いのではないのでしょうか。資料名や時期、掲載ページまで入れるのかといったことも検討いただければと思います。</p> |
| 部会員 | <p>コワーキングスペースについて、20ページの1-2-1の起業家の交流・協働の仕掛</p> |

| | |
|-----|--|
| 事務局 | <p>けづくりの枠に、コワーキングスペースが位置付けられていますが、起業に特化したコワーキングスペースにする方針でしょうか。色付け方によってさまざまな性格があるのではないのでしょうか。</p> <p>昨年度の産業ビジョン策定時の考え方としては、起業家支援や起業家の方が利用する場所として、市も主眼を置いていました。しかし、今回の地域経済対策では、リモートワークのニーズが高まり、都心に行かなくても仕事ができる環境というニーズが市内でも高まっています。19ページの4-2に記載していますが、「リモートワークの普及に伴ってニーズが高まるシェアオフィスやコワーキングスペースを運営する事業者への支援」を新しい事業として掲載しています。シェアオフィスとコワーキングスペースの定義付けが重複するところもあると思いますが、一定数のニーズがあると考えて、このような記載を追加しています。</p> |
| 部会長 | <p>今、ご指摘いただいたことは、前回、重要な論点として提起していただきました。19ページに記載はありますが、20ページの説明を見るとコワーキングスペースの可能性が限定化されてしまいます。どういう方向性で位置付けるのか、再度事務局で検討していただければと思います。</p> <p>例えば、25ページの4-2-1の「働き方に関する啓発の推進」でも、シェアオフィス等の事業者の運営支援というところがありますので、前回のご意見はここにもかなり関わります。今回の事務局提案は再掲も多いですが、市で再検討された上で、やっぱり起業家の方に絞られるのであれば、市の方針ですのでそれで結構かと思います。違うのであれば、20ページ以降のビジョンの位置付けの中に記載できるのではないかと思いますので、2月に向けてご検討をよろしくお願いします</p> |
| 事務局 | <p>説明が足りなかった部分がありましたので、補足いたしますと20ページ以降の部分は、昨年度に策定した産業ビジョンに、今回ご検討いただいている地域経済対策を間に入れ込んだものでして、19ページに記載している内容を、25ページに再度記載しているものです。記載方法として、要約した形で表中に書き込んでいるため、違う意味合いでとらえられてしまう恐れもありますが、同じ意味で使わせていただいています。</p> |
| 部会長 | <p>表記の仕方で市の意図は伝わるため、またご検討よろしくお願いいいたします。</p> |
| 部会員 | <p>川西インターチェンジの近くの物流施設と舎羅林山の話が出ましたが、これは非常に市にとってインパクトがあり、舎羅林山の開発も市の大きな課題だと思います。21ページの1-3-3はこれらをイメージして書かれているのでしょうか。また、川西インターチェンジ周辺土地利用計画の項目について、新規拡充も早期・中長期も記載がないですが、ある程度具体化しているのであれば、中長期に記載してはどうでしょ</p> |

| | |
|-----|---|
| 事務局 | <p>うか。</p> <p>今回の舎羅林山の開発の件につきましては、13ページの1-3- で触れているのですが、民間事業としてすでに開発がほぼ完了しています。そこに対して市ができることとして、「土地利用計画の変更などの産業立地促進」と記載しています。これは元々住宅開発地として開発の許可が出たところについて、流通・工場に変更するための対応が主になってきます。そのため、市として新たなハード整備等の事業は、現在のところ想定していません。</p> <p>また、物流施設ができれば雇用が生まれてきます。生まれてきた雇用については、19ページの4-1- で「事業者の立地促進による就業機会の創出」として触れており、事業所が入りやすい仕組みをつくり、雇用については市もフォローするというスタンスで、この二つを記載しています。</p> <p>表現につきましては、わかりやすく記載させていただきます。</p> |
| 部会長 | <p>関係者や市民の方々が見て一番わかりやすいのが、20ページ以降の表になると思いますので、20ページ以降の表の見せ方は重要かと思われま。</p> <p>ご指摘いただいたように、空欄では何もしないようなイメージに繋がりがねないため、無くすのは難しいですが、見せ方はご検討いただければと思います。誤解を生みそうな感じもします。</p> |
| 部会員 | <p>4ページの所得循環構造の意図がよくわかりません。どういう方向に向かっていくのか、どこが良くてどこが悪いのかが読み取れないため、解釈を入れていただければと思います。この状態から、どうなることを目指すのかがわかれば良いと思いました。</p> <p>もっと地域にお金を落とす仕組みなどがわかれば良いと思いますが、最終的なイメージが読み取れないため、説明が難しいのなら削除してもいいのではないかと思います。</p> |
| 事務局 | <p>市内の産業構造やお金の流れの概略を示したものです。住宅都市という市の形は変わるものではないため、大阪等で働いている方の給料が市内に入り、それをどこで消費するかということですが、現在は市外に流出しており、そこに課題があると考えています。それをご理解いただくための図として掲載しています。</p> |
| 部会長 | <p>もう少し説明を加えると市民も理解できるのではないかと思います。マクロ的な事実データとしてはこの通りですが、だからどうするのかという記載も考えていただければと思います。</p> |
| 部会員 | <p>13ページの1-2- 「起業家の交流・協働の仕掛けづくり」について、コワーキングスペースはハードも必要だけれどソフトも大事だという話があったと思います。ここには「起業家等の円滑な事業活動に資するセミナーの開催や交流機会が提供される</p> |

| | |
|-----|--|
| 事務局 | <p>「コワーキングスペース」を運営する事業者の支援」とあり運営する事業者しか支援されないのでしょうか。運営しない人でもソフト的なことをしたい人がいるのではないかと思います。運営しなければ支援してもらえないのでしょうか。</p> <p>市内にコワーキングスペースがないという現状があり、そういう施設があると市民の利便性が高まるという認識から、運営事業者を支援すると記載しています。他の事業でも、交流機会を持つような場合に支援をしない訳ではないですが、ここでは施設を設置する事業者を支援するものとして記載しています。施設ができた後にそこを活用して何かを実施したい事業者がいれば、できる限り門戸は広く考えておりますので、今後考えたいと思います。</p> |
| 部会員 | <p>今ある施設を使って、セミナーを運営したい人はいるのではないのでしょうか。市内の公的な施設を使って、コワーキングスペースはできないけれど、セミナーはできるという人も、中にはいるのではないかと思います。</p> |
| 事務局 | <p>そういう場合も、市では広報支援を行う等、既に取り組んでいる支援は引き続き行っていきます。</p> |
| 部会員 | <p>あくまでも、これはコワーキングスペースを運営する人が前提と理解しました。</p> |
| 部会長 | <p>1-2の文章を見ると、「起業者の働く場所としてコワーキングスペース等の」という記載があり、この文章ではやや幅広く捉えています。事業の方向性になると運営者に限定されています。市としてコワーキングスペースに絞るのであればそれでも良いです。</p> |
| 事務局 | <p>運営はしないがソフト事業を実施したい方とは、具体的にはどのような方を想定されていますか。</p> |
| 部会員 | <p>一般団体や個人でも、起業家支援をしたいという方がいるかもしれません。今でも小さな会など商工会ではない一般の方が創業支援などを行っていることがあると思います。</p> |
| 事務局 | <p>具体的にそれほどありませんでしたが、もし産業振興課に相談があれば、広報支援等はさせていただいておりますので、新たな事業として産業ビジョンにどのように表現できるのか検討します。</p> |
| 部会長 | <p>「等」をつけて幅を持たせても良いのではないのでしょうか。検討をお願いします。</p> |
| 部会員 | <p>20ページの一覧表で、事業展開の方向性と着手時期の設定をさせていただいておりますが、責任主体がわからないため、どこに問い合わせをすればいいのか、窓口がわかりやすくなってほしいと思います。今は事業体制として、どこの部署がどの事業を担当するか決まっていなくてもいいかもしれませんが、部署を横断的に取り組んでいくことは今後重要になると思います。</p> |

| | |
|-----|--|
| | <p>また、どの自治体でもウィズコロナ・ポストコロナにあわせてSDGsの推進に取り組んでいて、前回の産業ビジョン策定の際の議論でもSDGsの話があったと思いますが、この対策の中でSDGsのゴールを示せたら、未来志向のビジョンになるのではないのでしょうか。</p> <p>まず、20ページ以降の表に、できるだけ対応部署、カウンターパートを見える化するような記載ができないか検討をお願いします。</p> |
| 部会長 | <p>SDGsの表記については、今の時代には必要と思われる。時間との戦いになると思いますが、2月に向けて検討・作業してはどうでしょうか。</p> |
| 事務局 | <p>SDGsについては、産業だけでなく、暮らしなど全般的に該当すると思っています。前回策定した際も、コラムという形で産業ビジョンとどのように関係しているかを本冊で触れており、これに追加する地域経済対策でも、同様に反映しているものをご理解いただけたらと思います。</p> <p>少し補足しますと、本冊でSDGsについて触れているとおりで、考え方は変わっていません。しかし、上位計画に当たる川西市総合計画や総合戦略について、SDGsに基づいた整理がまだ出来ていません。現在のところ、分野別計画である産業ビジョンが先行して振り分けられる段階にはなっていません。今後の総合計画の策定時において、上位計画との整合性を取りながら、SDGsに紐づけて整理したいと考えております。</p> <p>また、中長期的な問い合わせ先や担い手については、現時点ではどのように表現できるか即答はできませんが、最終回までに事務局としての考えを取りまとめたいと思っています。</p> |
| 部会員 | <p>大きな計画を立てる際に、SDGsの達成についてはチェックリストになりやすいとよく聞きます。企業でもそうですが、当たり前に行うことがSDGsの達成になることが重要であり、川西市が当たり前に行えるということが大事だと思いました。</p> |
| 部会長 | <p>非常に重要なことですので、総合計画も含めて期待しています。</p> |
| 部会員 | <p>8ページの観光業のプラス要因の中にある能勢電鉄の乗降客数について、第3波でまた数字が悪くなり、11月は対前年マイナス20%まで減少しています。いつまでの数字をここに記載すればいいのかわかりませんが、第3波はまだ続くと思われるため、厳しい状態は続くと思っています。</p> |
| 事務局 | <p>第3波の影響は現在起こっていることで、今日の会議で伺いましたので、マイナス要因になってしまいますが記載したいと思います。</p> |
| 部会長 | <p>2月の委員会を見据えて、ギリギリまでは難しいかもしれませんが、できる限りその後の数字も提案に活かしていただければと思います。</p> |
| 部会員 | <p>まず、言葉の定義について、15ページのスタディケーションは造語ではないで</p> |

| | |
|------------|---|
| <p>事務局</p> | <p>しょうか。そのような言葉をどうするのか、検討が必要ではないでしょうか。この資料は市民が見られますが、専門用語が多いと感じます。11ページのAIやIoTはわかっても、DXは「デラックス」と読む方もいるでしょう。言葉について伝える工夫があってもいいと思います。</p> <p>また、20ページの表については、商工会等に係るところに空白が多く、間に合っているとわかっていても困ります。方向性として入っていますので、早期や中長期での取り組みとしていただきたいと思います。例えば1-3-1については、コミュニティビジネスなどの話し合いを進めていて、方向性は見えてきており、空白は残さないでいただきたいと思います。</p> <p>早期と中・長期の欄は、新たな取り組みが始まるタイミングについて記載していません。このため、既に実施している既存の取り組みは空欄になっていますが、これまでの取り組みを継続することがわかるように誤解のない表記に変更します。</p> |
| <p>部会長</p> | <p>言葉の表記方法については、もう一度精査していただき、伝わりにくい言葉に関しては説明等を付記していただければと思います。</p> |
| <p>部会長</p> | <p>20ページからの表では、新規や拡充など盛りだくさんの事業を挙げてもらっています。全面的に市の積極的な支援姿勢が打ち出されており、ビジョンとしては非常によい形だと思います。しかし、これだけ支援を掲げると、予算や実施体制については、どこかでその担保が問われると思います。産業振興課としての見込みや、すでに対応できていることなど、見通しを教えていただけますでしょうか。</p> |
| <p>事務局</p> | <p>本来は昨年度に産業ビジョンを策定し、今年度はアクションプランとして進捗状況や実施状況についてチェックを行い、ローリングを行っていくことを想定していました。これを毎年、委員会に提示する予定でしたが、今年度はコロナ禍で進んでおらず、改めて来年度からそのような形で進めたいと考えています。</p> <p>早期に丸を付けている事業については、今年度、来年度、再来年度に具体的に進めていきたいと考えています。</p> |
| <p>部会長</p> | <p>新規事業として挙がっているものの予算措置は大丈夫なのでしょうか。</p> |
| <p>事務局</p> | <p>例えば、20ページの移動販売・キッチンカー支援については、すでに中心市街地活性化協議会で取り組んでおり、そういった事業も中には入っておりますので、掲載している事業の方向性については体制として実施可能と考えています。</p> |
| <p>部会長</p> | <p>2月の委員会でもそのような意見がでるとおられますので、確認させていただきます。</p> <p>22ページの2-3-1「マイクロツーリズムのPR」と、基本方針3の3-3-3「商業団体等による地域ニーズに対応した事業への支援」については、早期のほうが良いの</p> |

| | |
|-----|---|
| 部会員 | <p>ではないでしょうか。マイクロツーリズムを中・長期にしていますが、もしコロナ禍が終わった場合、観光は一層拡大していくこととなります。ウイズコロナの中で求められるのがマイクロツーリズムですから、地域ニーズに対応した事業への支援とともに、再検討をお願いします。</p> <p>17ページの農業について、文章がわかりづらいため修正をお願いします。</p> <p>また、23ページ以降の農業の事業内容については、全部早期対応になっています。予算や人的能力も足りなくなるかもしれないため、何に早めに取り組むべきかが重要だと思っていますが、農業に関しては比較的横ばいで推移しているという報告でしたので、農業資材や種苗等を買う余力があるなら、それを中・長期に後倒しにした上で、直売システムの整備を早めにしたほうが、川西市のブランド化という観点では良いと思います。ビニールハウスの設置や高収入作物の生産支援も、生産が安定するまでには時間がかかる可能性があるため、中・長期に回したほうが良いです。農業者は売れる場を先に作らなければ、新しいことを始めないと思います。</p> |
| 部会長 | <p>早期、中・長期に関しては、事務局で再度精査・確認されると思います。</p> |
| 部会員 | <p>21ページの2-2-1「かわにし」のプロモーションの推進について、「オフラインとオンラインを組み合わせたイベント開催の支援」と記載されていますが、ノウハウの支援なのか、ハード的な機材支援のイメージなのでしょうか。</p> |
| 事務局 | <p>これまでも場所の提供や広報で、オフラインイベントのPRもしてきましたので、ここにオンライン要素が加わるため、引き続きSNSを活用したPRや場所の支援を行うことを想定しています。</p> |
| 部会員 | <p>やり方ではなく、ハイブリッドなイベント発信という意味合いだと理解しました。</p> |
| 部会長 | <p>支援という言葉がかなり多いため、その中身が問われるのではないかと思います。</p> |
| 事務局 | <p>たくさんのご意見をありがとうございました。いただいた宿題は一度事務局で整理し、ご提示させていただきます。</p> <p>新たな情報として提供した市北部地域の物流関係の事柄については、市議会等での周知が先日あったばかりで、委員の皆様へのお知らせがこのタイミングになってしまいました。そのうえで再度ご説明させていただきます。</p> <p>9ページの「移動・行動の制約が、既に社会の一部で導入されていた、デジタル技術によるモノ・コトサービスや、移動・運搬サービスへの需要を急拡大させることにつながり、社会全体のライフ/ビジネススタイルの変化のスピードが加速的に進んでいくことが見込まれます」という文章の中で、移動・運搬サービスの需要を急拡大させる、大きな社会潮流の変化について記載しています。また、10ページの「サービス提供の非接触化」ではコマースについて、11ページでは本市の立地特性や交通利便</p> |

| | |
|-----|---|
| | <p>性、労働人口等のポテンシャルを、12ページでも社会経済情勢の変容に対応する事業者の新たな取り組みや立地への期待を記載しています。こうしたことを踏まえて、13ページの1-3- 「市北部地域における、土地利用計画（都市計画等）の変更などの産業立地促進」につながるという流れになっています。今回ご説明させていただきました。ただ、土地利用計画の変更で住宅開発から物流倉庫に変わるだけの話であり、内容はまだこれからのため、それらの動きを上手くこの中にまとめたいと思っています。</p> |
| 部会員 | <p>この資料ができあがった後にPDCAを回す場合、今後もこのような会議は続くのでしょうか。</p> |
| 事務局 | <p>28ページの産業ビジョン推進委員会のメンバーリストの中で、昨年度の産業ビジョン策定に関わり、今年度は産業ビジョン推進委員会の本会として委嘱をさせていただいている方々に、来年度のPDCAサイクルを回すところに関わっていただくことを想定しています。昨年度策定した産業ビジョンの末尾に、今後のPDCAをどう回すか記載しています。改めて説明すると、事業実績の評価報告を、毎年8月頃と考えていました。来年度以降も、今回整理させていただいたところについて、年1回、報告ないし評価について対象委員を交えて検証いただく場を持って行きたいと考えています。</p> |
| 部会員 | <p>できれば聞かせていただきたいと思っています。</p> |
| 部会員 | <p>20ページの表の1-3-2で、オンデマンドモビリティとグリーンスローモビリティは「導入を推進」するとして「早期、新規拡充」に記載されていますが、これは行政が推進するのでしょうか。昨年の川西まつりでグリーンスローモビリティのモニター運行をしたことは知っていますが、立ち位置を教えてください。</p> |
| 事務局 | <p>オンデマンドモビリティについては、交通政策課が主担当として動いており、既存の交通事業者との兼ね合いもあり、どのように棲み分けができるのか模索をしているところです。早期事業として記載していますが、実際には環境が整ってからになると考えています。</p> <p>同様に、グリーンスローモビリティも川西まつりで走らせましたが、これも交通関係者にご理解いただく必要があります。早期事業としていますが、現在模索している段階です。</p> |
| 部会長 | <p>この後のプロセスがどうなっていくのか、ご説明いただこうと思っていましたので、重要な点をご指摘いただきました。</p> <p>非常に多くのご意見をいただきました。まだ事務局で調整していただきますが、この大枠と内容について本委員会に上程します。皆様、ご了承いただけますでしょうか。</p> <p>それでは、いただきましたご意見は事務局で精査し、反映、修正していただき、2</p> |

| | |
|-----|--|
| 事務局 | <p>月の推進委員会で提示していただきたいと思います。</p> <p>3回にわたり、非常に熱心で、しかも重要なご意見をたくさん賜りました。ありがとうございました。私自身も大変勉強になりました。</p> <p>それでは事務局にお返しいたしますので、よろしくお願いいたします。</p> <p><議事録の確認方法について説明></p> <p>3 閉会</p> <hr/> <p>部会長、会議の進行をありがとうございました。委員の皆さんもありがとうございました。</p> <p>次回の予定につきましては、産業ビジョン推進委員会の全体会として開催させていただきます。2月18日（木）の15時から予定しております。基本的には委員の皆様にお集まりいただく形式での開催を予定していますが、今の感染拡大の状況では難しいかもしれません。感染拡大の状況に応じて、オンライン形式で開催せざるを得ないと思っています。状況により判断させていただきますが、日程だけは決定させていただきます。日が近づいてまいりましたら、別途ご連絡をさせていただきます。よろしくお願いいたします。</p> <p>本日は長時間にわたりご議論いただきまして、誠にありがとうございました。ズームミーティングからのご退出をもって、会議を終了させていただきます。どうもありがとうございました。</p> |
|-----|--|